

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成25年度病害虫防除情報第13号

いちごの病害虫対策について、各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

ハダニ類の発生が増加傾向にあります。 早期発見に努め、発生初期の防除を徹底しましょう。

1 作物名 冬春いちご

2 病害虫名 ハダニ類

3 発生状況（経過）

1) 10月中旬の巡回調査におけるハダニ類の発生面積率は25.0%（平年31.3%）、寄生株率は0.8%（平年6.2%）といずれも平年並の発生であったが、11月中旬の巡回調査では、急激な発生の拡大が見られ、ハダニ類の発生面積率は66.6%（平年38.8%）、寄生株率は19.3%（平年9.9%）といずれも平年よりやや多となった（図1）。

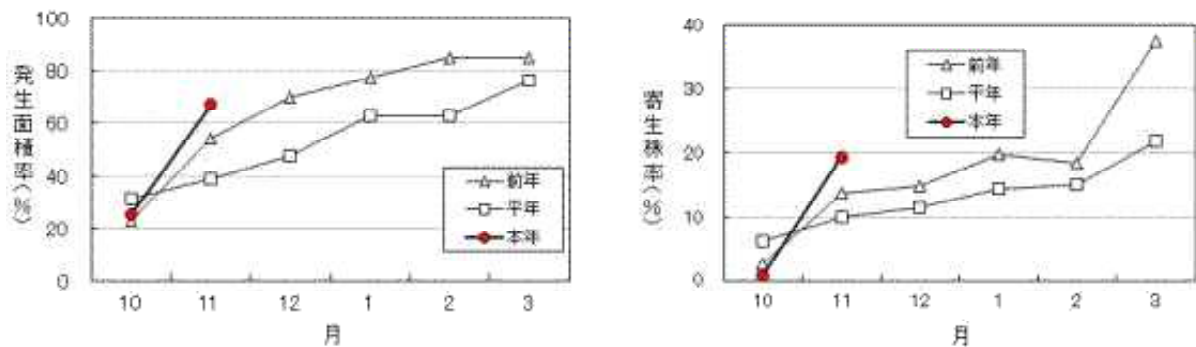


図1 ハダニ類の発生状況（いちご）

4 防除上の注意

- 1) 発生初期はスポット的に寄生しているので、葉裏を中心にほ場全体を注意深く観察し、発生を認めたら直ちに防除を行う。
- 2) 急激に個体数が増加するため、発生初期のうちに、散布間隔を短くして集中的に防除することが重要である。
- 3) 下葉の裏に多く寄生しているので、不要な下葉を除去した後、薬剤が葉裏まで十分にかかるように丁寧に散布する。
- 4) 有効な薬剤に対する抵抗性の発現を回避する観点から同一系統薬剤の連用は避け、異なる系統の薬剤のローテーション散布に努める。
- 5) また、主要な防除薬剤に対する感受性が低下した個体群が確認されていることから、抵抗性発現の可能性が低い気門封鎖型薬剤の使用、天敵の導入など、効果の高い薬剤の温存に努める。

5 その他

- 1) 農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。
- 2) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病虫害防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病虫害防除・肥料検査課
（病虫害防除・肥料検査センター） 中村

TEL：0985-73-6670 FAX：0985-73-2127

E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp